

## 「効率と公正」を考える授業のためのガイドブック ～シングルライダーってどうなん？～

### 1 法教育の授業「対立と合意」「効率と公正」とは

法教育の授業における話し合い活動は、「対立と合意」「効率と公正」をテーマとして実施されることが多い。しかしながら、小学校では、「対立と合意」「効率と公正」という考え方や、それに基づいた授業・話し合い活動を行う実践が少なく、また、指導者自身の意識も低い。

小学校の特別活動（学級活動）の中では、学級の諸問題を解決しよりよい学校生活を送るための話し合い活動の実践は多い。実際学級に起こっている諸問題や懸案事項を「学級会」の中で解決にむかうために話し合い、一定の結論や「きまり」を策定しようとする授業である。しかしながら、これらの話し合い活動は「折り合い」をつけることに価値を置くものであり、「対立と合意」「効率と公正」という法教育の視点とは異なる部分が大きい。「対立」関係にあることを「理解」し、その中から「合意」を得るという法教育の視点ではなく、学級生活の改善を図るために対立関係を排除し、「折り合い」を付ける力を育成すること、つまり「折り合いをつける」ことが目標となるものである。

「対立」関係にあることを理解し、そこから「合意」形成にむけた話し合い活動をすすめる「折り合い」がつかないことがあることを学ぶのが法教育の授業であり、その時に学ぶべき視点が「対立と合意」「効率と公正」である。困難な問題、複雑な問題こそ、合意を急がず、互いの利害を理解し、対立の構図を整理し明らかにしながら、合意を見出していく話し合い活動、また、その「合意」が、「効率と公正」の視点から、互いに評価できるものであるのか、また、その評価は「妥当」であるのかを考察する視点を育てていくことが法教育の授業である。

### 2 授業にむけて

「対立と合意」の視点は、学校生活や社会生活の中で比較的題材を得やすい。もちろんディベート学習にみる「肯定か否定」の二者択一の対立構図だけでなく、多様な利害が絡み合い「八方塞がり」の題材を提供する方が、「対立と合意」について深く考えることができる。また、児童もそれぞれの立場になって自他の利害を理解し、合意に向けた話し合いを進めやすい。

一方、小学校の法教育では、「効率と公正」の視点を柱とした授業実践は少ない。それは、「合意内容」や「きまり」の「妥当性」についての話し合いをするといった場面を共通理解することが困難であるからだと考えられる。そこで、本授業では、児童にとって身近な事柄（きまり）について「効率と公正」の視点をもって話し合い活動ができるよう構成した。

児童にとって身近な事象を取り上げることは、共通理解を得やすいだけでなく、日常の様々な場面においても「効率と公正」の視点をもって物事を考えることができることに気づくためである。

### 3 授業の進め方

#### (1) 法教育の授業の進め方

法教育の授業は、法やきまりについて「考える」授業であり、「法を作る」授業や「法を守る」授業ではない。したがって、本授業もシングルライダーの是非について決定する話し合いを行うわけではない。「是非を問う」という話し合いの形式をとって、「効率と公正」について考える授業である。

学級やグループで話し合いをすすめ、一つの答えにまとめる必要はない。逆に、一つにまとめることが難しいぐらいの意見や考えが出されることで、多様な考え方や価値観にふれる機会としたい。

また、出された意見の一つ一つを理解しようとする聞き方ができる場面でもある。ただし、聞くだけでなく、出された意見についてそれぞれの思いや立場を表出して、それが、「効率」と「公正」の視点からどうであるかという話し合いをしてほしい。話し合いの視点は「効率」と「公正」であるが、絶対的な指標や基準がないので、自分の基準を定め、考え、判断し、意見として出し合うことを期待するものである。ただし、空虚な議論ではなく、法や決まりについて考えるスキルアップトレーニングとして取り組んでほしい。このような視点や考え方ができてこそ、実際のトラブルの時に、正しい判断と行動がとれ、法や決まりの遵守の意味がわかることにつながると考える。

また、「効率」と「公正」を考える中で、「理解」と「合意」の違いについても扱うことができる授業である。「相手の言うことの内容を理解することと、そのことに合意すること」は全く別であるという考え方を育てる絶好の機会でもある。

本時終末の全体交流も、グループの代表が発表をする場面を設定しているが、グループの意見を1つにまとめる発表ではなく、多様な意見が出されたことを発表し、さらにそのことについてどのような話し合いがされたか、最後に自分はどう考えにいきついたかを発表してほしい。これも、グループの中での意見や考えと自分の考えとの違いを明確に伝える練習であり、その差異を埋めることが合意にむけての話し合いの争点となることを理解してほしいと考えている。

#### < P P 資料について >

##### ○使用したイント教材のテンプレート

本時の教材提示に使用したパワーポイント資料のテンプレートは、<http://www.dvd-ppt-slideshow.com/powerpoint-templates/disney-powerpoint-templates.html>

から入手したものである。ディズニーを題材とした授業であるので、著作権フリーとなっているパワーポイントテンプレートを採用した。(本時の展開を参照)

法教育の授業で触法行為を避けるため、添付 P P ファイルは無地バージョンとしている(授業者以外の2次利用を制限)。授業の際は、上記のサイトからテンプレートをそれぞれで入手し、パワーポイント上でテンプレートの変更作業をすすめることを希望する。

## (2) 本時の進め方

本授業は、ディズニーリゾートのアトラクションの「シングルライダー」制度について考えるものである。

ディズニーリゾートの乗車系アトラクションは、「スタンバイ」、「ファストパス」の2種類の待ち方がある。「スタンバイ」は、一般的な待機であり自分の順番がくるまで列に並んで待つものである（これが待ち時間として表示される）。「ファストパス」は、乗車可能時間を限定することによりアトラクションに参加できる人数を制限し、スムーズな案内ができるようにした制度である。ただし、ファストパスは、チケットを決められた場所で取得することや、限定数発行であるために人気アトラクションになると早々に完売してしまうなど入手は容易でない。一方、「シングルライダー」は、ペア席やグループ席の空席に乗車する制度である。一般的には（アトラクションによって違いがある）、スタンバイの列に並ばず、ファストパス入手の苦勞もせずにアトラクションに乗車できるものである。そのためスタンバイやファストパスの側からすると、「順番ぬかし」や「ずるい」といった印象はぬぐえない。

この「シングルライダー」制度について、「順番ぬかし」は悪いことであると教えられ、どんなに列が長く、人が多くても最後尾に並び順番を待つことが正しいことであると考えている児童、ファストパス入手のためにルールを守ることが大切であると考えている児童が制度をどのようにとらえ、ディズニーリゾートのきまりを理解するのかを「効率と公正」の視点に気づかせながら話し合わせたい。

実際の話合いでは、「順番ぬかし」や「ずるい」といった声が多数あがることが予想される。それらの声を「効率」と「公正」の視点で整理し、シングルライダー制度の是非について意見交流をさせたい。さらに、「効率と公正」の視点からの是非だけでなく、「ディズニーリゾートの理念」「みんなの願い」「自分の願い」を付け加えることで、自分にとっての「効率と公正」と、みんなにとっての「効率と公正」の差や、みんなの願いをかなえることを目標としている「ディズニーリゾートの理念」にふれ、「きまり」をきめるには、「効率と公正」の視点だけでなく、「理念」や「配慮」といった視点が大切であることを知り、より広い視野にたった考えができる児童を育てたい。

## 4 本時のねらい

(1) きまりを「効率と公正」の視点にたって考えることができる。

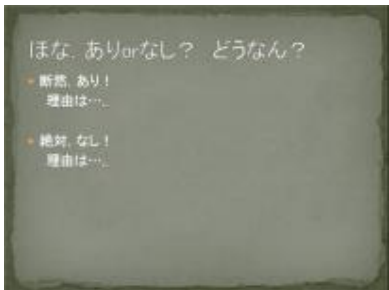
さらに、高位のねらいとして、

(2) 「きまり」を決めるには、様々な視点とその調整が大切であることがわかる。

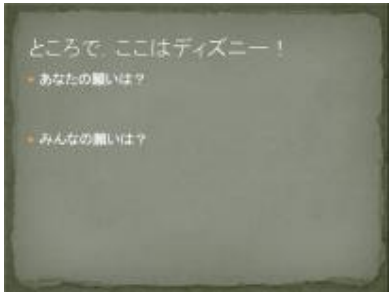
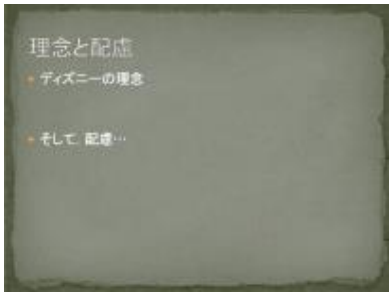
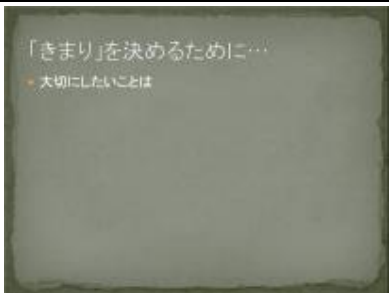
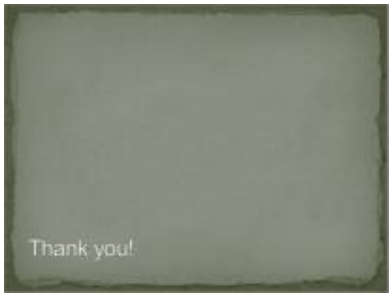
# 5 本時の展開

	スライド	教師の発問	児童の反応
導入 5分		今日の勉強はこれです。	○えっ！ディズニーランド？ ○シーちゃん？ ○やったー，おもしろそう。 ○何するの？ ○ディズニーランド大好き。
	<p>レイジング・スピリッツに乗ろう！</p> 	<p>大好きなディズニーシーに到着しました。 では，「レイジングスピリッツ」に乗ってみよう。</p>	<p>○知ってる～！ ○いいなあ。 ○乗ってみたい。 ○乗ったことある…， ○こわそう</p>
	<p>でも，混みすぎ…</p> 	<p>えっ，でもすごく混んでいる！ やっぱり，ディズニー…。</p>	<p>○そうそう，ディズニーシーはいつもいっぱいや。 ○ほんまにすごい人やな。 ○前いったときは，もっとすごかった。</p>
	<p>とりあえず，ならぶ…</p> 	<p>①どうしよう ②でも，乗りたいし並ぶしかないかな。 80分待ちだって…。 ※まだ，ファストパス，シングルライダーは取り上げない。</p>	<p>①ならぼう ①ファストパスとったらええやん。 ①待ち時間は？ ②待ち時間がいややねん。 ②先生，ファストパス。</p>
	<p>さすが，ディズニーやわ♡</p> 	<p>うわっ，やっぱりディズニー。とっても凝ってる。 すごい！ ※「配慮」にかかわる部分。これは，スタンバイ列からが一番近くで見られる。待ち時間に対する配慮と工夫。 ※取り上げない。</p>	<p>○そうそう，本物みたいなのがあるねん。 ○あれ，遺跡の地図やで。 ○そんなん見たことないわ。  ※児童から情報を出させる。 指導者からは示さない。</p>
	<p>えっ！抜かれた。ならんでるのに…</p> 	<p>ところが…， えっ，抜かれた。 なぜ…。 もう1時間以上ならんでいるのに…。 ※事実を伝え，感情面は児童から発言させる。 ※否定的な感情については応答して深めたい。</p>	<p>○するい ○せっかく並んでたのに ○ファストパスやん。 ○シングルライダーちゃんの ○ファストパスええな ○そやから嫌やねん。 ○だって，ずっと並んでたのに抜かれるの腹立つやん。</p>

		<p>①楽しかった ※映像等で楽しさを感じさせたい。</p> <p>②でも、あれは何だったのかな…。 ※まだ、取り上げない。</p>	<p>①むっちゃ楽しそう。 ①ええなあ。 ①行ってみたいな。</p> <p>②ファストパスやって。 ②先生、知らないの？</p>
展 開 ① 10 分		<p>何これ？ これだったんだ。</p> <p>※シングルライダーの簡単な説明をする（児童説明の補充） ※ロールプレイで例示する。 4人組乗車→3人組乗車→空席→一人乗車（8人）</p>	<p>○シングルライダー？ ○知ってる…，（説明） ○えっ，そんなんあるの ○ええやん。 ○今度，やろう。 ○ずるい。</p>
		<p>では、ようやく今日のテーマです。</p> <p>「シングルライダーってどうなん？」 ※少し発言させて、次のスライドで思いを語らせる。</p>	<p>○ずるい。 ○ええやん。</p>
		<p>では、この「きまり」について、どう思いますか？</p>	<p>○ずるい ○順番ぬかしやん ○一人で乗って楽しいん？ ○家族で乗るから関係ない。 ○ずっと待ってるから腹立つ</p> <p>※多様な意見をたくさん出させる。</p>
展 開 ② 20 分		<p>「きまり」について考えるときに2つの見方で考えることができます。 一つが「効率」もう一つが「公正」です。 効率とは、そのきまりが効果的に機能しているか、つまり、この場合は待ち時間を短くできているかとか、並ぶ場所がどうかとかになります。 公正とは、不公平がないかどうかです。順番を抜かされたりしていないか、見たいものが見られなかったりしていないか、乗りたい人と乗れているかなどです。 この2つの視点で、みんなの意見を整理しましょう。</p>	<p>&lt;効率&gt; ○シングルライダーがはいるので、スタンバイやファストパスの待ち時間がふえる。 ○シングルライダーの待ち時間は短い。 ○シングルライダーが空席を埋めるので、全体の待ち時間は減るのでは。 ○シングルライダーが並ぶスペースがあるので、他が狭くなっているのでは。そのために列が長くなっている。 等 &lt;公正&gt; ○スタンバイで待っていた人が抜かれている。</p>

		<p>また、マイナス面だけでなく、プラス面や得をすることについても考えてみましょう。</p> <p>※マイナスだけでなく、プラス面を考えることで、その逆について考えたり、配慮が見えてきたりする。</p>	<p>○ファストパスを苦労して手に入れたのに抜かれている。</p> <p>○シングルライダーの待ち時間が短い。</p> <p>○スタンバイは、家族と一緒に乗れる。</p> <p>○シングルライダーは、一人ぼっち。</p> <p>○乗っている間楽しくない。</p> <p>○隣に知らない人がのるのでちょっと嫌。 等</p>
		<p>では、整理ができました。</p> <p>で、その上で、「シングルライダー」はありかなしかを判断しましょう。</p> <p>まず、ありかなしかを述べ、その後理由を明確にするようにしましょう。</p> <p>※グループで意見を出し合い、その後、特徴的な意見を全体に示し、さらに論議するようにしたい。</p>	<p>&lt;なし&gt;</p> <p>○長い時間待っていた人が嫌な思いをするのはおかしい。</p> <p>○人気アトラクションのファストパスをとるのは大変なのに、何も苦労しないですぐに乗れるのは不公平。</p> <p>○家族で楽しみたいのに、知らない人がとなりにきたらテンションがさがる。</p> <p>○写真を撮った時に知らない人がとなりにいるのは嫌だ。思い出がちょっと…。</p> <p>○一人の人も並んで乗ったらいい。みんな並んでるし。</p> <p>○ディズニーリゾートは嫌な思いをしにきているのではない。 等</p> <p>&lt;あり&gt;</p> <p>○空き席を埋めてくれるから、全体として並ぶ時間が短くなる。空席を見たらもったいないと思う。</p> <p>○スタンバイは家族と楽しめて、アトラクションの内部もゆっくり見られる。</p> <p>○一人の人もスタンバイに並んだらもっと混雑する。分けるのはいい方法だと思う。</p> <p>○一人でできても楽しめる。</p> <p>○ファストパスなしで乗れるのはとっても便利。家族で乗るのと一人で乗るのを選ぶ。 等</p>



展開 ③ 5 分	 <p>ところで、ここはディズニー！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あなたの願いは？</li> <li>みんなの願いは？</li> </ul>	<p>ところで、「ここはディズニーリゾート」、ディズニーリゾートでのあなたの願いは？</p> <p>みんなの願いはどのようなだと思いますか？</p> <p>※是非は判断をする必要はない。是非を問う基準として「効率と公正」の視点を理解すること。</p>	<p>&lt;あなたの願い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○たくさんアトラクションを楽しみたい。</li> <li>○待ち時間を短くしてほしい。</li> <li>○家族と一緒に乗りたい。等</li> </ul> <p>&lt;みんなの願い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ディズニーリゾートで楽しい一日を過ごしたい。</li> <li>○待ち時間を少なくしてほしい。等</li> </ul>
	 <p>理念と配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディズニーの理念</li> <li>そして、配慮...</li> </ul>	<p>では、ディズニーリゾートはどんな理念(思い)をもっていると思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ハピネスを感じてもらえる場所</li> <li>○大人も子供も一緒に楽しめる場所</li> </ul> <p>その思いをみんなに伝える理解してもらうために必要なことは何でしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全</li> <li>○礼儀</li> <li>○ショー</li> <li>○効率</li> </ul> <p>※ディズニーリゾート HPより</p> <p>②では、シングルライダーでの配慮って何だろう？</p> <p>③シングルライダーが乗車するときは、必ず同乗の許可を得ます。なぜでしょう。</p>	<p>&lt;理念&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなが楽しめる。</li> <li>○夢の国にする。</li> <li>○家族みんなで楽しめる。</li> </ul> <p>&lt;配慮&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に注意している。</li> <li>○とっても親切に話してくれて、気持ちがいい。</li> <li>○いつも笑顔。等</li> </ul> <p>②シングルライダーの配慮は出てこない。</p> <p>②一人の人でも楽しめる。</p> <p>③家族で楽しみたい人に迷惑をかけないため。</p> <p>③一人で乗る人が辛い思いをしないため。</p> <p>③みんなで楽しく乗ることができるようにするため。等</p>
まとめ 5 分	 <p>「きまり」を決めるために...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大切にしたいことは</li> </ul>	<p>今日は、「シングルライダー」というきまりについて考えました。</p> <p>みなさんで今日の学びを交流しましょう。</p> <p>「きまり」を決めるために大切にしたいことは何だと考えますか？</p>	<p>学んだことを思い思いに発言させる。</p> <p>◎「きまり」を決めるには、様々な視点とその調整が大切であることがわかるようにまとめる。</p>
	 <p>Thank you!</p>		

## 6 評価

- (1) きまりを「効率と公正」の視点にたって考えることができる。
  - ① 効率と公正に整理して、シングルライダー制度を考えることができる。
  - ② シングルライダー制度の是非について、理由をもって意見することができる。
- (2) 「きまり」を決めるには、様々な視点とその調整が大切であることがわかる。
  - ① ディズニーの理念をもとにした配慮について自分なりにとらえることができる。
  - ② 立場による利害とその調整の必要性を、理念の実現の視点からとらえることができる。
- (3) 評価については、一律の規準を設定したものではなく、ワークシート、授業中の発言等から個別に記録をし、個々の児童の変容についてとらえることができるようにしたい。



# ( )って何なん？

( )ってあり・なし？

きまりを決める時に大切なことは…

## 8 おわりに

実際にディズニーリゾートでシングルライダー制度を導入しているアトラクションは3つのみである。この点からも、「効率と公正」の視点だけで「きまり」を決定するのではなく、「理念」と「配慮」といった視点の大切さにふれることができる。

ただし、ディズニーリゾート自体は、1民間企業であるので、ことさらにディズニーリゾートを持ち上げるのではなく、「効率と公正」について考える教材として捉えるようにしたい。「ディズニーリゾートはすごいが、〇〇はあかん。」といった短絡的な学びではなく、「〇〇はあかん。」について「効率と公正」、「理念」と「配慮」、また、「利益」と「資産（労働力）」など多様な要素について検証しながら、現状を理解し、児童なりの改善策を見出すことができるのであれば、提案し、その「妥当性」をさらに話合うような活動を展開したい。